

仮払金と仮受金

練習問題

以下の一連の取引を仕訳しなさい

問1-1：従業員の出張にさいし、旅費の概算払額500円を現金で渡した。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問1-2：従業員が出張から戻り、旅費を清算し、残額100円を現金で受け取った。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2-1：出張中の社員から現金200円の送金があったが内容は不明であった。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

問2-2：上記の送金は、得意先からの売掛金の回収額であることが判明した。

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-

解答解説

問1-1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
仮払金		500		現金		500	

旅費金額が確定するまでは概算払額を仮払金（資産）で仕訳。
利用されずに返金される場合もあるので、資産と覚える。

問1-2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
現金		100		仮払金		500	
旅費交通費		400					

仮払金の利用内容が確定した分を振替ます。
今回の場合、旅費交通費（費用）に振り替え。
残った金額は現金で仕訳。

問2-1

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
現金		200		仮受金		200	

受け取った現金の内容が不明な時は、仮受金（負債）で処理しておきます。
誤入金の場合、返金しなければならない場合もあるので、負債と覚える。

問2-2

借方科目	-	借方金額	-	貸方科目	-	貸方金額	-
仮受金		200		売掛金		200	

仮受金の内容が判明したときは、適切な勘定科目に振り替えます。